



# 平和への祈り 音に込め

八戸

平和を祈りながら演奏する参加者

1945年に広島市で原爆被害に遭った「被爆ピアノ」を演奏するコンサートが14日、八戸市のポータルミュージアムはつちで開かれた。NPO法人はちのへ未来ネットと八戸学院大学短期大学部が主催。八戸市を中心に公募で集まった園児から86歳まで33組が演奏し、平和への祈りを音に込めた。(中村篤希)

◇ ピアノを所有するのは自身も被爆2世で、広島市のピアノ調律師矢川光則さん(72)。元の所有者やその親族から託され演奏できるよう修復、現在7台を所有し、

## はっち 市民ら「被爆ピアノ」演奏

後世へ語り継ぐべく被爆ピアノ資料館を運営している。

2001年に広島で行われた平和式典を契機に活動をはじめ、ピアノを積み込んだトラックを自ら運転しながら国内外3千カ所以上に出向いた。14日に演奏されたピアノは爆心地から2・6キロ先で被爆したものの、元の所有者も17歳で被爆し、昨年8月に96歳で亡くなったという。

最初に出演した「根岸コース」の指揮者・澤田京子さん(86)「八戸市」は、伯母といとこが広島で原爆被害を受けた。「いとこは被爆の影響で早くに亡くなった」と振り返り、「歌で少しでも原爆のない世界に近づけば」と話した。

矢川さんの被爆ピアノによる演奏会は19日まで、県内10カ所で行われる予定。